

第 42 号
2023 年 5 月

宮本常一
農漁村採訪錄 25



The collage consists of several historical documents and photographs:

- Top Left:** A table with two columns of names and dates, likely a list of officials or residents. The names are in Japanese characters, and the dates are in the format "Year (Era Name) Month Day".
- Top Right:** A photograph of a traditional Japanese shrine or temple building with a tiled roof.
- Middle Left:** A map of Taiwan, with various locations marked in Japanese characters. The map shows the island's coastline and major cities.
- Middle Right:** A photograph of a church building, likely a Catholic mission station, with a prominent steeple.
- Bottom Left:** A document titled "Home Book" (Home Book) with a decorative border. It contains a list of names and dates, similar to the table in the top left.
- Bottom Right:** A photograph of a traditional Japanese shrine or temple building, similar to the one in the top right.

Shan Chuan of Hawaii
日本ハワイ移民資料館

ハワイ移民 参考書籍



日本ハワイ
移民資料館

日本ハワイ移民資料館には沢山の書籍、資料、写真があります。今回はその中でも私達スタッフが日頃参考している書籍3冊を紹介いたします。

当館の特色として「ハワイ移民検索システム」の充実があげられます。官約移民(1885~1893)の2万9000人、官約移民後(1894~1908)の10万5000人のデータベースがあり、簡単に検索出来ます。しかし、これらの記録以外でより詳しい資料を探したい時には当館所蔵の書籍を参考にしていきます。



す。その際、まず手掛ける方法として当館で作成した「簡易索引ファイル」を活用します。このファイルには3冊の書籍のデータが纏めてあります。「発展銘鑑防長版」「洋上の光」「日本人写真帳」です。

にハワイ商業社より発行。この本は防長版なので山口県出身者の資料となります。ハワイ在留同胞の発展状態を後世に残すべく発行されたもので、奮闘努力の跡を偲び氏名、生年月日、本籍地、現住所、職業、経歴等が載っています。ファミリーヒストリーに興味がある人には最適とされます。

次は「洋上の光」です。検索時に手掛かり情報として宗教関係の場合、特に浄土宗であればこの本を参考にするケースが多いです。昭和9年にハワイ浄土宗教団本部より発行。その内容はハワイの各教会と開教使の写

す。なかでも「ダイヤモンドヘッド」「ワイキキ海岸」「キラウエア火山」の写真は当時の姿が見られて大変興味深い書籍です。また建物の写真には、市庁舎、学校、病院、寺院等があり、現在も残っているものもあるかもしれません。ハワイだけでなく当時の日本国内や朝鮮、台湾の写真も載っていて大変貴重です。県郡別人名録には、氏名、職業、原籍、現住所があり詳細調査に役立ちます。

今回は当館の書籍を紹介しましたが、ほんの一部でしかありません。展示品1300点、収蔵品8200点を有し、入館者の要望や企画に合わせて紹介していますので、是非足を運んで頂ければ幸いです。

今年が開館25周年、カウアイ島姉妹提携60周年記念に当たります。スタッフ一同お待ちしております。



(藤元良哲)

久賀のなむでん踊りは、田植え後に行われてきた虫送りの行事です。なむでん踊りでは稲田の中で討たれた平家の武将斎藤実盛が稲を恨み虫となつて害をなすという伝承にちなみ、実盛の人形を先頭に町内各所を踊りまわり稲の害虫や病を人形に移し、最後に海に流して豊作を祈りました。

踊りの前に久屋寺で踊りの無事の奉納を祈つて大般若経の転読が行われます。転読とは経文の一部を読み、あとは扇を広げるように勢いよく経本を広げてすべてを読んだことにするものです。この時の経本の風にふれるだけでもご利益があるといわれます。この日に授与されるお札にも大般若経の中の唱文があり、經典の力でも災いを防ごうとしたことがわかります。今年はお札にも目をとめて昔の人々の祈りに思いをはせてみられてはいかがでしょうか。

(古賀瑞枝)



周防大島町総合体育館

ランニングマシンで健康維持



●有酸素運動マシンのご紹介

ランニングマシンではウォーキングやジョギングができます。有酸素運動によって、持久力や心肺機能の強化が期待できます。季節や天候に左右されず自分のペースで走ることで、全身運動でかつ脂肪燃焼には最適なマシンです。

●トレーニングルーム

当施設は各種トレーニングに対応できるマシンを設置しております。健康維持向上、シェイプアップ、筋力アップなど様々なリクエストに応える使いやすいトレーニング器具を揃えております。

なお、初めての方は初回講習会の受講が必要です。マシンの使い方に不安のある方は、専門スタッフが機械の使い方、トレーニング方法につ

いてアドバイスをいたします（要予約）。見学は自由ですのでお気軽にお立ち寄りください。

【利用料金】 1回 220円

【使い方】

ランニングマシンで走り始める前に、ウォームアップ（準備運動）を行うようにしましょう。ウォームアップを行うことで、筋肉の温度が上がって神経系の伝達が良くなるために運動効率が上がります。

ランニングマシンはとても効果的なトレーニングですが、間違ったフォームだと怪我をするリスクもあります。走っている時は通常よりもさらに姿勢を意識しづらくなります。常に意識して胸を張って走ると良いでしょう。

【走り方のポイント】

- ① 手すりをつかまない
- ② 腕を大きく振る
- ③ 良い姿勢を保つ

運動前にウォームアップが必要なように、運動後のクールダウンも大切です。クールダウンは運動によって活性化した筋肉の温度を下げ、徐々に通常モードに戻すために行います。

一枚の古写真



左は昭和39年（1964）10月4日に宮本常一が撮った写真です。大島瀬戸に浮かぶ笠佐島から周防大島の飯の山方面を写したものです。まだ山裾に大島大橋は見えませんが、当時は大島と小松の間を国鉄の連絡船が通い、小松を起点にして島内各地を国鉄バスが走っていました。写真にも連絡船と見えてき白い船が小さく写って見えます。

大島の玄関口にある飯の山には、かつては松がよく茂っていたそうですが、写真では山頂部周辺や尾根筋の所々に突出して見える程度です。山腹は段畑や宅地によってパッチ状に開かれています。ちなみに、大島大橋は昭和45年に建設認可が下りて翌年着工、昭



和51年7月に開通します。これは架橋以前の様子をマクロに捉えた貴重な写真といえます。

また、笠佐島は柳井にもとあった塩田に燃料の薪を供給する島でしたが、近世後期から小松志佐村の百姓が移り住み、開墾が進められました。この島は土が深く木もよく茂り、比較的水に恵まれたところでした。そのため、写真のように島の東側では水田も作られていました。現在、山の谷部で、もと水田があったと思われる平坦面は竹藪になり、周辺は杉林になっています。

集落の中には、瓦葺屋根に混じって茅葺屋根の家もいくつか見えます。瀬戸に浮かぶ小島であるために、比較的遅くまで古いものが残ったのでしょうか。集落の前面に海をもち、後背に田や山をもつことで、どこか牧歌的で、落着きのある景観を見せています。

（板垣優河）

イベント広場

八幡生涯学習のむら

令和5年度陶芸教室のお誘い

毎月第1・3の水・

木・土曜日に開催。

初心者の方には基礎から学べる入門講座がおすすめです。



がら実際に掛軸を作成します。初めての方は講師が用意した材料を使って紙の扱い方やノリの種類、刷毛の使い方を練習しながら掛軸を作る技法を学びます。経験者も積んで気に入った書や思い出の画を自分で掛軸に仕立て、新しい季節を迎えるのも楽しみです。開講中はご自由に見学いただけます。



ださい。在庫限りで販売終了となります。ご了承ください。

【問合せ】0820・72・2601

日本ハワイ移民資料館

ハワイアンキルト展

【期間】令和5年7月15日～8月26日

【場所】日本ハワイ移民資料館及びサタフラ会場

【内容】ハワイアンキルトの作品展示 ※日本ハワイ移民資料館での展示は開館日のみ

【入館料】大人400円 小人200円

【問合せ】大島国際交流協会 副会長 米沢 090・1337・6165

◆**本格講座**

【開講日】①毎月第1・3水曜 ②毎月第1・3木曜 ③毎月第1・3土曜

※時間はいずれも13時～15時

④毎月第1・3水曜19時～21時

【受講料】1500円(年間一括払い15000円)、

材料費…粘土代1kgにつき200円

【日程】5月21日、5月28日、6月3日、6月4日

【時間】13時半～16時半

【場所】八幡生涯学習のむら 語らいの間

【講師】金本豊(表具工指導員・一級技能士)

【問合せ】0820・72・2601

◆**入門講座(初心者向け)**

陶芸の基本技術を習得するコース。本格講座の4つの開講日のいずれかに連続3ヶ月ご参加いただけます。

※受講料は同じ。

別途、入会金1500円が必要です。

【書籍販売】

現在、八幡生涯学習のむらでは宮本常一著の文庫本を特別価格(一冊500円)で販売中です。通常だと660円～1100円の書籍です。この機会に是非お求めください。

※販売書籍のタイトルはお問合せく

周防大島アートプロジェクト・原田裕規展(仮)

日本ハワイ移民資料館において、アーティスト・原田裕規氏(1989～)が新作を発表します。

山口県出身の原田氏は、2019年に訪れたハワイのビーチで故郷の地名が刻まれた墓石を発見したことをきっかけに、同地の移民文化を断続的に調査してきました。今回発表するのは、ハワイに住む移民の子孫など関係者からの聞き取りや、資料

◆**表具講座を見学できます**

講師に表具の歴史や技術、日本建築などについて解説していただきます

【臨時休館日】

5/30(火)、6/30(金)、7/31(月)、8/31(木)、9/30(土)、10/31(火)、11/30(木)、1/30(火)、2/29(木)、3/31(日)

館の収蔵資料にまつわるエピソードに基づく最先端のデジタル技術を用いた映像作品です。昭和初期に建てられた和洋折衷建築である旧福元家住宅を活用した日本ハワイ移民資料館の構造をも利用することで、これまでにない角度から移民たちの物語に光を当てます。

【期間】令和5年6月20日から7月9日まで(ハワイ移民資料館の開館日)

【場所】日本ハワイ移民資料館

【入館料】大人400円 小人200円

【関連イベント】

原田裕規によるギャラリートーク 6月20日(火)、7月8日(土) いずれも14時開始

宮本常一記念館の臨時休館について

当館では図書コーナーの棚卸や資料整理を実施するため、月末整理日に合わせて臨時に休館をします。利用者の皆様には、ご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。

【臨時休館日】

5/30(火)、6/30(金)、7/31(月)、8/31(木)、9/30(土)、10/31(火)、11/30(木)、1/30(火)、2/29(木)、3/31(日)